

## (公社) 岐阜県理学療法士会主催 平成 27 年度 市民公開講座レポート

平成 27 年 6 月 28 日 (日) に行われた平成 27 年度市民公開講座について報告させていただきます。

今回は、岐阜県図書館多目的ホールにて、岐阜県総合医療センター循環器内科・心臓リハビリテーション部部長の谷畠進太郎先生、同センター理学療法士の中島将宏先生、岐阜大学非常勤講師・認定ヨガ療法士の石垣倫子先生をお招きして、「心臓病とリハビリテーション」というテーマにてそれぞれの立場からご講演頂きました。今回は、県士会員 94 名、一般市民 87 名と多くの方が参加してくださいました。

谷畠先生のご講演は、「生命維持にとって必要なものは酸素である」という内容から始まり、循環器について、循環器における心臓の働きについて、と分かりやすい展開で進みました。心臓の仕組みや心臓病の各種病態や治療法についても、例え話や画像を交えながらの分かりやすい説明で、一般市民の皆様が大きくうなずきながら聴講していたのが印象的でした。



心臓リハビリテーションについては、「心臓病の後も安心して快適に暮らすこと、再発を防ぐことが目的である」とその意義についてや運動療法の効果についてなどをお話し頂き、心臓リハビリテーションの重要性を再確認できました。

中島先生のご講演は、心肺運動負荷試験 (以下 CPX) について、健常者をモデルに実演を行いながら、CPX の目的や得られる様々な情報の解釈についてなどをお話し頂きました。一般市民の皆様はもちろんのこと、会員の皆様にとっても、CPX の実演を見ることは貴重な機会になったのではないのでしょうか。



石垣先生のご講演では、心臓リハビリテーションにおけるヨガ療法の取り組みの実践について、症例紹介を通じてお話し頂くと共に、参加者全員でヨガ療法の体験をすることもできました。新しい取り組みとして今後の動向に注目です。

最後に、貴重な時間をさいてご講演頂きました 3 名の先生方、開会のご挨拶を頂きました岐阜県理学療法士会会長 榎林優先生、座長を務めて頂きました岐阜県総合医療センター 理学療法士廣瀬聡彦先生、準備に携わってくれた研修部の皆様、準備や後片付けをお手伝い頂きました会員の皆様、誠にありがとうございました。



学術局研修部 部員  
土岐市立総合病院 浅井智也